



新しく
個人部門
設置

第六回 選定地区 募集

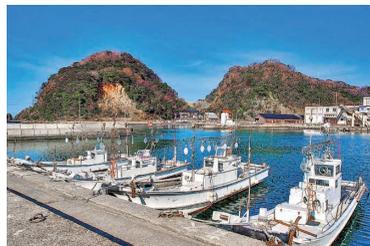
応募期間

令和元年 7月 1日 (月) ~
9月 2日 (月)

ディスカバー

農山漁村の家

むらの たから



○ 趣旨

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力のある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

平成 26 年度（第 1 回選定）から実施し、平成 30 年度（第 5 回選定）までに 143 地区の優良事例を選定しております。

○ 選定の対象となる取組

地域において、新たな需要の発掘・創造や埋もれていた地域資源の活用を行うことにより、農林水産業・地域の活力創造につながる、次の①から③のいずれかに該当する取組とします。

- ① 美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
- ② 幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生
- ③ 国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現

応募期間 令和元年 7 月 1 日（月） - 9 月 2 日（月）

応募方法 「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ内の応募フォームに必要事項を入力いただき、ダウンロードした応募用紙（Word ファイル）を添付のうえ御応募ください。詳細は「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ (<https://www.discovermuranotakara.com>) をご確認ください。



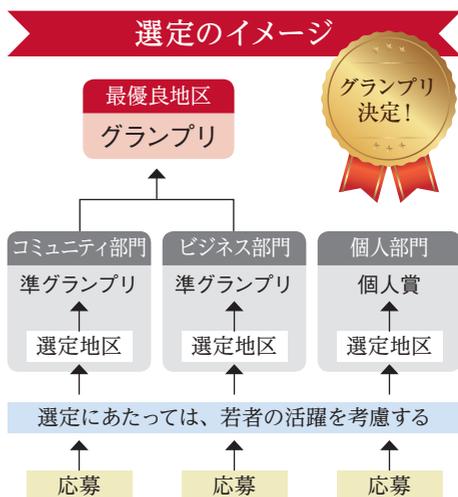
選定方法 有識者懇談会において、総合的に審査し、優良事例を選定します。

① 団体向け（コミュニティ部門・ビジネス部門）

コミュニティ部門（関係者の連携による活動で地域に活力をもたらす取組等）とビジネス部門（事業化を通じて所得向上や雇用を生み出す取組等）に分けて募集・審査。両部門計 30 地区程度を選定し、両部門の中から最優良地区を「グランプリ」として、また、グランプリ以外で各部門での優良地区を「準グランプリ（各部門）」として選定し、表彰します。

② 個人向け（個人部門）

個人部門（地域でリーダー的な活躍をしている者等）として、募集・審査。5～10 名程度を選定し、その中から優良者を「個人賞」として選定し、表彰します。



有識者懇談会委員

選定委員



あんまくだとなど
上智大学大学院教授
慶応義塾大学特任教授



今村 司
(株) 読売巨人軍
代表取締役社長



織作 峰子
大阪芸術大学教授
写真家



田中 里沙
事業構想大学院大学学長
(株) 宣伝会議取締役



永島 敏行
俳優
(有) 青空市場代表取締役



林 良博
国立科学博物館館長



藤井 大介
(株) 大田原ツーリズム
代表取締役社長
(株) ファーム・アンド・ファーム・カンパニー
代表取締役社長



三國 清三
オテル・ドゥ・ミクニ
オーナーシェフ



向笠 千恵子
フードジャーナリスト
食文化研究家
郷土料理伝承学校校長



横石 知二
(株) いろどり
代表取締役社長

選定証授与式と交流会

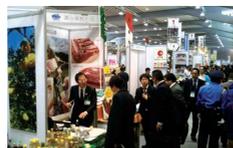
平成 30 年度の第 5 回選定では、11 月 22 日に総理大臣官邸にて、選定証の授与式及び交流会を開催。交流会においては、選定地区の代表者は、お互いに交流を深めるとともに、内閣総理大臣、内閣官房長官、農林水産大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）等からの激励を受けました。



選定地区に対する取組

「ディスカバー農山漁村の宝」に選定された地区に対しては、選定証の授与を行います。また、農林水産省ホームページ等で活動を紹介するほか、様々なイベントへの出展支援を通じて、全国的な情報発信を行います。

- ・平成 30 年 11 月、東京都の日本橋駅前前で第 5 回選定地区によるマルシェの開催。
- ・平成 31 年 2 月、大阪府の太平洋トレードセンターにて開催された「アグリフード EXPO」に出展。
- ・令和元年 6 月、東京都の東京ミッドタウンにて、第 1 回から第 5 回までの選定地区が一堂に会する「ディスカバー農山漁村の宝」サミットを初開催。等



◎「ディスカバー農山漁村の宝」大賞 及びアンバサダー

令和元年6月7日、東京ミッドタウンにて開催された「ディスカバー農山漁村の宝」サミットで、「ディスカバー農山漁村の宝」大賞（これまでの全143選定地区のうち、選定後も意欲的に取組を継続している最優良地区）とアンバサダー（「ディスカバー農山漁村の宝」のPRを行う者）を決定しました。

大賞地区の紹介（和歌山県有田市）

株式会社 早和果樹園

平成27年度（第2回）選定地区



選定後の取組

- ・選定後、他社に委託していた搾汁を自社で行うことに転換。これに伴い、搾汁の残渣であるミカンの皮を乾燥させたものを大手漢方薬メーカーと取引するとともに、同様に残渣となるミカンのフクロもスムージーとして販売するなど、新規事業に取り組む。
- ・これらの取組を通じて、売上高は4.7億円から9.4億円に増加（H25～29年度）
- ・ミカンの加工品（ジュース、アイス等）を中国等へ輸出し、輸出額は140万円から1,040万円へ増加。（H25～30年度）
- ・選定されたことを、全国・海外からの視察者にPRする他、新卒の採用活動でも活用し、毎年4～5名の新卒大学生を採用している。（H31年時点で、社員の4割が20代）

アンバサダーの紹介



- (左) 佐伯 絵里子（さえき えりこ）
選定地区名：高千穂ムラたび協議会
所在地：宮崎県高千穂町
選定年度：平成28年度（第3回選定）
意気込み：「未来のムラ」に元気を！！
- (右) 鈴木 至（すずき いたる）
選定地区名：大崎の米『ささ結』
ブランドコンソーシアム
所在地：宮城県大崎市
選定年度：平成30年度（第5回選定）
意気込み：世界農業遺産の大崎で、『ささ結』を作り、盛り上げるぞ！！

お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課 活性化推進班

〒100-8950 東京都千代田区霞が関 1-2-1 電話（直通）：03-3502-5948 ファックス：03-3595-6340